

目 次

糖鎖工学 ファジーな情報分子の魅力	1
(名古屋大学大学院工学研究科教授) 小林 一 清	
I. 糖鎖合成化学の新世紀	
1. 糖鎖自動合成装置「Golgi」	3
(北海道大学大学院理学研究科教授) 西村 紳 一 郎	
2. 分子認識チップとしてのオリゴ糖鎖の実践的合成	9
(静岡大学農学部応用生物化学科教授) 碓 氷 泰 市	
3. 創薬のシーズを糖鎖に求めて	15
(岐阜大学農学部生物資源利用学科教授) 木 曾 真	
II. 医科学研究の究極のツールとして	
4. グライコ・ナノマテリアルズ：糖質の認識シグナルを活用する生体機能物質	23
(名古屋大学大学院工学研究科教授) 小林 一 清	
5. アフィニティー解析：糖鎖でタンパク質を釣る	29
(富山医科薬科大学薬学部教授) 畑 中 保 丸	
6. 自己組織化の鍵分子：人工分子組織体から脳・神経細胞まで	35
(京都大学大学院工学研究科合成・生物化学専攻助教授) 秋 吉 一 成	
III. 糖鎖を活用して健康を守る	
7. 糖鎖を操作して組織を再生・修復する	41
(お茶の水女子大学大学院人間環境科学専攻助教授) 小 川 温 子	
8. タンパク質に発現する糖鎖の多様性と秩序性	47
(東京都老人総合研究所生体情報部門室長) 古 川 清	
IV. 環境を改善する糖鎖工学	
9. 多糖を資源とした生産工学	55
(東京大学生産技術研究所教授) 畑 中 研 一	